

## I. 委員会名簿

役職	所属	氏名
委員長	東京農工大学保健管理センター	原田 賢治
委員	徳島大学キャンパスライフ健康支援センター	井崎 ゆみ子
委員	青山学院大学保健管理センター	五味 慎太郎
委員	関西学院保健館	清水 幸登
委員	京都大学健康管理部附属健康科学センター	中神 由香子
委員	東京工業大学保健管理センター	安宅 勝弘
委員	千葉大学総合安全衛生管理機構	吉田 智子

## II. 活動報告

- 協会のウェブサイトに関連した活動
  - 「お知らせ」に、「COVID-19 関連情報」を掲載した。
  - 「資料集・アーカイブ」に、「女性の健康推進室 ヘルスケアラボのご案内」を掲載した。
  - 記載内容を更新・改訂し、リンク切れ等を修正した。
    - ◇ お知らせ、研究集会、委員会、機関誌、資料集・アーカイブ、サイトマップ、リンク集など
  - ウェブサイトの構成を改訂した。
    - ◇ 画面表示幅が狭い場合に左列のメニューを非表示とした（現在の利用状況は、PCからの閲覧が87%だが、今後スマホからの閲覧が40%を超えるならば更に狭い画面への対応が必要となる）。
    - ◇ 「関連情報」というページの名称を「資料集・アーカイブ」に変更し、内容一覧を追加した。
    - ◇ 全ページに「▲TOPへ」のボタンを表示した。
  - 電子メール双方向配信システム関連の改訂をおこなった(後述)。
- 協会の連絡網に関連した活動
  - 電子メール双方向配信システムに関連して協会のウェブサイトを改訂した。
    - ◇ 会員専用ページを介さない直接のリンクを表示した。
    - ◇ 運用の注意事項を明示した。
    - ◇ マニュアルのファイルを修正した。
    - ◇ 「COVID-19 関連情報」の情報交換の場として電子メール双方向配信システムを推奨した。
  - 電子メール双方向配信システムの利用者登録情報(担当業者が管理)を見直して修正した。
  - 電子メール双方向配信システムでの調査のルールについて、eメールによる委員会で検討し、

-----

本システム上での調査は、(1)調査実施主体が、全国大学保健管理協会の委員会または協会会員大学の場合で、かつ、(2)事前に調査の目的や方法など所定の事項を協会事務局に申請し、研究内容について審議する協会の委員会での審査によって、協会の委員会活動の一環である、または、会員大学が正当な目的と適切な方法で実施する調査研究である、と判断された場合にのみ実施することができる。本システム上では、メール配信システムの個々の利用者が調査実施主体の調査は、実施することができない。

-----

という見解をまとめ、守山代表理事に報告をおこなった。

### III. 活動計画案

- 協会のウェブサイトに関連した活動
  - 地方部会の研究集会などの活動情報(例:抄録集のPDFファイル)を掲載したい。
  - 各大学がよく使う・役に立つウェブサイトの情報を調査して、その結果を掲載したい。
- 協会の連絡網に関連した活動
  - 電子メール双方向配信システムへの全大学の登録を実施したい。  
(現状は、会員大学数 509 校のうち、2020 年 8 月時点の利用大学数 288 校、ユーザー数 926 名)
  - 配信システム利用者登録情報を、全大学への一斉メールの情報(事務局で管理)と統合したい。
  - 配信システムを使いやすくするために、メニュー構成等を見直したい。
- その他、コミュニケーションや情報提供・情報交換等に関連した活動
  - ウェブを利用して講義や講演をオンデマンドで閲覧(学習)できる環境を会員に提供したい(例:研究集会のウェブ利用などを参考として、初任者向け・ナース向けの自己学習教材等、eラーニング教材を利用できる環境を構築・提供したい)。
  - 電子診療記録システム(電子カルテ)について、記録項目や形式などの状況調査をおこないたい。